たちを信じて 大切さ

舜也さん(35・三郷明盛)







て見守り続ける内川さんに、 て大切にしていることを聞きました

体づくり

楽しさから始まる

どもたちと関わっています。 じてもらうことを大切にした運動です。 が出てきたらうれしいです。 曇野ハーフマラソンに出たり、ANCア 気持ちの芽を育てられたらと思い、 を遠ざけず、「やってみよう」と思える 委員を退いた今でも、体を動かすこと よりも、「体を動かすって楽しい」と感 た。これは、「できるようになること」 レーニング」の普及活動をしてきまし を引き出す「コオーディネ 昨年度まで、 ナでスポ 脳や心、 ーツ観戦をするような子 市の体力向上推進委員 体に刺激を与えて力 将来、 ショント 安 子

原点を見つめ直した1

自身と深く向き合う時間を持ちまし じました。そのタイミングで現場を離 に秘めた大切な思いを、集団生活のた10年目を終えた頃、「子どもたちが内 た。その中で気づいたのは、「待つこと」 めに犠牲にしていないか」と疑問を感 10年目を終えた頃、 教師になって13年がたちましたが、 信濃教育会研究所で1年間、 自分

> れていません。だからこそ、正解を切です。その方法は教科書には書かの時代では、変化に対応する力が大何が起きるか予測が難しいこれから たが、今で 以前は、 界で、 とで、 ました。 が多く、地域とのつながりも深いのいと思っています。安曇野には自然い」と感じる経験を大切にしてほし 直しを繰り返しながら学び続けるこ きます。 で、学校の外でもいろいろな体験がで 出すことよりも、失敗や「わからな わってきていると実感しています。 いや願いに目を向けるようになりぐに介入せず、言動の裏にある思 ることを大事にしてい ろん必要な時は指導します 私自身も、この正解のない教育の世 教師として学びを楽しみ続けた 生きる力を育ててほしいです。 今では子どもを信じて見いく存在だと思っていま それらを通して、 問い 教師は子どもたちを引 かけ方も以前とは変 失敗ややり が、 ŧ すち

さが子どもたちにも伝わっていくよう に、これからも一緒に過ごしていきます。 いと思っています。そして、その楽し

■プロフィル

豊科北小学校勤務!

長を務める。昨年度、市体力向上推進委員会の委員

三郷の早起き野球でも活躍中。









ることを聞きました。 梛ちゃんの成長を家族で見守る山﨑さ 毎日の暮らしや子 育てで感じてい

娘と歩む 家族の日

唱を聞きながら家で過ごす家族の何気田んぼから響いてくるカエルの大合 たと思う瞬間です。 ない時間。私がここで暮らしてよかっ

経ちます。娘は生まれてすぐ、てんか んを発症し重い発作が続いていまし 家族3人で安曇野に暮らして5年が その後、 詳しい検査で脳に腫瘍が



すサポートを受けています。 活に必要な動きや運動機能の発達を促 家族の気持ちも落ち着いたと感じてい 娘の状況を周囲に説明しやすくなり、 が分かりました。 な状態が続き、知的障がいがあること 作はなくなったものの、 あると判明。腫瘍を取る手術をして発 今は専門の施設に通い、日常生 診断を受けたことで 発達は緩やか

くれています。 とで、刺激を受けてたくましく育っ 同年代の友達と過ごす時間が増えたこ 長を感じました。自然との触れ合いや きちんと座っている姿を見て、 に座っていられるか心配しましたが、 に変化がありました。入園式では静か 昨年は娘がこども園に入園し、 娘の成 環境

暮らしで感じる安曇野の恵み

星が広がる夜空も同じくらいきれいで な北アルプスはもちろんですが、月や みを感じる場面がよくあります。 安曇野で暮らしていると、自然の恵 雄大

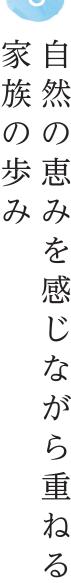
> 野の恵みを全身で感じながら成長して を置いておいたら、 うになりました。 ごと1本食べ切っていたことも。 すてきなんです。夜遅くふと空を見上 げると、その美しさに心が安らぎます。 娘も豊かな自然に囲まれて育つ 好き嫌い なく野菜も食べられるよ 庭で育てたキュウ 知らないうちに 安曇

行きたいというひそかな夢をかなえた たら夫婦でおいしいコーヒーを飲みに と願っています。あと、 わらずに私たちを見守り続けてほし 輝く夜空のある風景は、 とが家族の目標です。広がる田んぼ 分の人生を歩めるように支えていくこ いですね。 今は娘が周りの力を借りながら、 少し落ち着 いつまでも変 自 Þ

■プロフィル

と仕事に全力で取り組む。 市内で看護師として働きながら子育て 移住。令和2年に梛ちゃんが生まれ、 夫・広樹さんとの結婚を機に安曇野

美苗さん (46・豊科田沢) 棚 ちゃん (5)



私たちの 安曇野物語